

開成の杜

第125号 ●2024年9月30日 ●郡山女子大学大学院 ●郡山女子大学 ●郡山女子大学短期大学部 ●郡山女子大学附属高等学校 ●郡山女子大学附属幼稚園

●発行所／学校法人郡山開成学園 〒963-8503 郡山市開成3丁目25番2号 ☎024(932)4848(代) <https://www.koriyama-kgc.ac.jp> ●発行人／学園長 関口 修

「源氏物語」の登場人物の装束を再現した芸術鑑賞講座＝詳報は5面

家政学から生活科学へ

理事長・学園長
関口 修

人が命を維持するための活動が総ての学問のはじまりであることは、誰しも異論はないでしょう。

家政学は生活に関係するあらゆる分野を包含していますが、領域が広すぎ、分野ごとの特色が顕著なために、家政学の本質が不透明化し、社会的優位性（理解）が欠如しているとも考えます。

家政学と科学とを比較化した場合、違いはどこにあるのでしょうか。

家政学は生活の多面性を包括的に捉えつつ、科学的に特色化された分野を探究し、人類の発展に寄与貢献していると考えます。

日本家政学会は「家庭生活を中心とした人間生活における人間と環境の相互作用について、人的・物的両面から、自然・社会・人文の諸科学を基盤として研究し、生活の向上とともに人類の福祉に貢献する実践的総合科学である」と定義しています。

然し、現状の日常生活は社会生活と密接に結びつき、家庭と社会の狭間に研究すべき課題が山積してきていると考えます。

科学本来の語彙は分割分析して考えることであることに基づけば、家政学は諸学領域の発展に伴い、家政という一つの領域ではとらえきれない時代へと変化し、科学とい

う範疇に於いて解釈する領域で研究すべきと考えます。即ち、使用価値の変化によって価値の細分化が促進され、包括的構想が使用目的の具体性により分割研究される必要があるのではないのでしょうか。

前述の通り、日本家政学会の定義による学術的研究の積み重ねも尊重されなければなりません。今日の生活実態は余多の生活要因がデジタル化され、通常の行動形態に大きな変化を及ぼし、それらを甘受しているのが実相であると考えます。

例示的に、家族・親族の集団が集合化され地域社会が生まれる一連の歴史は古代より自然に行われ、そこには暮らしを維持発展させるための文化が発生しています。

生命を維持し安全を確保するために、家屋の機能向上が求められます。建築資材などの進化は自然現象の変化に左右され、科学の領域です。衣服による庇護性は古来変わりませんが、多様な繊維の開発は洗剤など多種多様な化学製品を生み出していると共に機械工学の発展を促しています。

更に、命をつなぐ食品分野は領域の広大さと変化に驚かされます。農業と自然は密接不離であり化学的探究による食品の出現などにより大きく変化しています。

このような現実直面している家政学は、その在り様を生活科学とすべきであろうと考えます。

短期大学部が日本遺産サポーターに 文化庁の第1号大学として登録



初の日本遺産サポーターとなった短期大学部の学生ら

本学短期大学部は、安積開拓や安積疏水をテーマにした日本遺産「一本の水路」にちなんだ取り組みや広報活動を評価され、文化庁から全国初の「日本遺産サポーター大学」に登録された。

短期大学部地域創成学科は、地域創成プロジェクト演習などでJR東日本と連携した「二本の水路」日本遺産巡り街歩きツアーの案内役を務めたり、学生のアイデアを基にした「ペルティグッツ」を作ったりしている。

また、日本遺産を後世に伝える市内の小学生らの学習活動や歴史民話の語り部グループの支援などにも努めている。

こうした取り組みが、今年4月から文化庁が日本遺産認定地域と連携し、精力的・意欲的な活動を行う大学・高専・専門学校などをサポーターとして登録する制度に合致。郡山市が事務局の日本遺産「一本の水路」プロモーション協議会の推薦を得て、令和6年6月6日付で第1号のサポーター大学に認定された。



文化庁のサポーター登録証

暮らしに役立つ話 熱心に耳を傾ける

大学生生活科学科の市民講座

大学生生活科学科主催の市民講座「暮らしの1ページ」は8月24日、学内で開かれた。

福祉、建築、教育の各領域から市民の暮らしを豊かにする知識や情報、課題の考え方を提供している。

今回は野口周一教授が「福島県立矢吹原修練農場創立期の教育理念とその現実」、島野光正准教授が「はじめてみませ

るか『人生会議(ACP)』〜最期まで自分らしく生きるために〜」高橋真理助教が「地震と建築物の地震災害を考える」と題して講演した。

野口教授は、下村湖人著「次郎物語」のモデルとなった教官、大河平聖雄(おこびらとしお)の教育理念などを、島野准教授は、家族や大切な人と自分の望む最期について話し合い「どの



暮らしに役立つ話を聞いた市民講座

ように生きたいか」を考えることの意義を。高橋助教は、地震があつても大きな被害を出さない備えとして家屋の耐震性を見極めるポイント等を説明した。

就職部より

今年度のインターンシップは42名の学生が第1班8月26日(31日、第2班9月2日)〜6日の日程で5日間の就業体験を行った。

学生は緊張し、慣れない仕事に取り組みながらも、目を輝かせていた。見るものすべてが初めてで新鮮に見えた学生、一つのものを作り上げていく楽しさを感じた学生、裏方の仕事の大変さを知り価値観が180度変わった学生もいた。ITの変化を肌で感じた学生は、これから自分のキャリアにも影響を及ぼすかもしれない。

また、卒業生の存在も大きく、インターンシップの先々で熱心に後輩の指導に当たり、時間のある限り学んでほしいと話していた。実務経験のない学生に、企業・病院等の皆さんはプログラムを組んで丁寧な心のこもつ

2024年5月調査 笹山原遺跡No.16の記録

発掘ガールが大安場史跡公園で展示



大安場史跡公園で開催中の発掘ガール展

短期大学部地域創成学科の発掘ガール速報展は9月7日から10月6日まで郡山市の大安場史跡公園ガイダンス施設で開かれている。

会津若松市湊町にある笹山

原遺跡No.16で2024年5月20日から6日間にわたって実施した考古学実習の発掘調査をまとめて紹介した。

出土した後期旧石器時代前半期(約3万年前)の石器や、平安時代の竪穴住居跡から見つかった土器などを展示。発掘の状況を記したり、写真に収めたりした記録だけでなく、合宿した学生らの食事当番の思い出なども披露されている。

笹山原遺跡No.16の発掘調査は2001(平成13)年から続けられている。地域創成学科の学生と短期大学部専攻科文化学専攻の学生らが、実習や演習として取り組んでいる。

HPに教師を目指す 人向けのページ開設

本学のホームページ(HP)に新たに「教師を目指すあなたを応援します!」というページを設けた。

おすすめページのバナーから入ると、郡山女子大学・短期大学部で取得できる家庭科教諭、特別支援学校教諭、栄養教諭、幼稚園教諭の免許をはじめ、連携協定を結んだ他の大学で取得できる免許などを知ることができる。

玉川大学との特別プログラム(通信)により小学校教諭二種免許状の取得が可能。また、大学と短大専攻科で教員免許を取得した人が、さらに専門性を高めるため上越教育大学教職大学院へ学長推薦で進学できることも案内している。

たご指導をして頂いた。9月13日には、企業の方々もお招きして、インターンシップの報告会を開いた。改めて深く感謝を申し上げたい。

今年は4月からインターンシップの目標設定シートを書いてもらい、ただやるのではなく、何を学びたいのか、より具体的な行動計画で向上させる能力を明確にしてもらった。

仕事は楽しみながら収入を得て、感謝され、社会貢献ができ、成長

新任職員紹介

郡山女子大学

【期限付採用】

(9月1日付)



柳下 結衣 助手

郡山女子大学家政学部食物栄養学科卒(令和5年3月)。前職は愛三工業株式会社。所属は郡山女子大学家政学部食物栄養学科。

■依願退職
一柳 智子(短大・幼児教育学科教授)

健康情報の重要性を説く 教養講座で後藤あや氏が講演



世界の現状を知る大切さを語る後藤氏

今年度第2回教養講座は7月10日、建学記念講堂で開かれ、ハーバード公衆衛生大学院国際保健・人口学講座教授の後藤あや氏が講演した。

後藤氏は、福島県立医科大学で家族計画や育児支援に関する研究を積み、ハーバード大学のモデル事業を日本にも適応した健康情報を分かりやすく伝える研修として、保健医療従事者に向け実施している。

講演は「世界とのつながり」と題して行われた。日本では想

像できない飢餓や環境破壊などに苦しむ国・地域の現状。逆に栄養過多による子どもの肥満や生活習慣病の恐ろしさに触れ、国境を超えて多様な課題に取り組み必要性を訴えた。

さらに、世界での出来事を通して関係と思考の自分事として捉えるよう強調。本学食物栄養学科の岡部聡子教授らが研究に加わり、本学と英国ランカスター大学、鹿児島大学が共同で、福島県内やアジア、アフリカで展開している児童参加型の学校保健事業なども紹介した。

来月1月にハーバード 大学院生が本学で研修

後藤氏は、ハーバード公衆衛生大学院と福島県立医科大学を中心に福島県の復興を加速させる研修プログラムづくりに取り組んでいる。来月1月にハーバード公衆衛生大学院の院生と教授らが県内を訪れ、郡山女子大学でも研修を繰り広げる。

音楽と朗読のコラボで 100万回生きたねこ

第222回芸術鑑賞講座

第222回芸術鑑賞講座は6月19日、建学記念講堂で開かれ、絵本「100万回生きたねこ」(佐野洋子作)を音楽と朗読により上演した。

郡山交響楽団の室内楽編成メンバー6人と、ミュージカル俳優・演出家の山崎義也さんが出演した。

前半は弦楽五重奏とピアノでクラシックの名曲を演奏。モーツアルトの「アイネクライネナハトムジーク」やベートーベン名曲メドレー(木村裕作曲)などが披露された。

後半は場面に合わせた演奏と山崎さんの朗読で「100万回生きたねこ」を読み聞かせ。学生と高校生たちは絵本に託された『だれかを愛せる』というのは幸せなことだ』という思いを受け止め、感動の拍手を送っていた。



山崎さんの朗読と郡山交響楽団の演奏に感動

短大生と附属高校生が 初のサマーコンサート



学生と生徒が共演したサマーコンサート

短期大学部幼児教育学科チャイルド・ミュージックコースと附属高校音楽科・合唱部による第1回サマーコンサートが7月13日、建学記念講堂で開かれた。

音楽に親しむ学生と生徒が企画運営して、日ごろの成果を多くの方々に披露しようと初めて開催した。

合唱や声楽・器楽アンサンブル、ハンドベル2台ピアノ、先輩と後輩によるフルートやサクソフォンの演奏など多彩なプログラムを準備。クラシックからミュージカルナンバー、映画音楽、童謡など幅広い楽曲で来場者を楽しませた。

附属高校運動部 大会結果・報告

※インターハイ出場詳細は4面掲載

【新体操部】

◇第70回福島県高等学校体育大会

女子団体

第1位 東北大会・全国大会出場

女子個人総合

第1位 佐藤若菜(3年) Ⅱ東北大会・全国大会出場、第2位 渡邊紗奈(2年) Ⅱ東北大会出場、第3位 松岡るな(2年) Ⅱ同Ⅱ 第4位 長沼瑠羽(3年)、第5位 村田浩彩(2年)

女子個人クラブ

第1位 佐藤若菜、第2位 渡邊紗奈、第3位 長沼瑠羽

◇東北高等学校体育大会

女子団体

第2位

女子個人総合

第1位 佐藤若菜

女子個人クラブ

第1位 佐藤若菜

女子個人リボン

第2位 佐藤若菜

◇北部九州高校総体(インターハイ)

女子団体

第20位

女子個人総合

第13位 佐藤若菜

女子個人クラブ

第11位 佐藤若菜

女子個人リボン

第14位 佐藤若菜

◇福島県総合スポーツ大会

女子団体総合

第1位 Ⅱ東北総合スポーツ大会出場

女子個人フープ

第1位 渡邊紗奈

女子個人ボール

第1位 佐藤咲来(1年)

女子個人クラブ

第2位 川俣凜夏(1年)

女子個人リボン

第1位 長沼瑠羽、第2位 松岡るな、第3位 村田浩彩

◇東北総合スポーツ大会

女子団体総合

第3位 Ⅱ国民スポーツ大会出場

女子個人クラブ

第3位 佐藤若菜

女子個人フープ

第2位 渡邊紗奈

女子個人ボール

第2位 佐藤咲来

【陸上競技部】

◇第70回福島県高等学校体育大会

円盤投げ

第1位 宗像亜恋(3年) Ⅱ東北大会出場

砲丸投げ

第1位 宗像亜恋 Ⅱ同

◇5000M競歩

第1位 鈴木莉緒(2年) Ⅱ東北大会出場

◇2000M障害

第6位 古川楓夏(2年)

◇東北高等学校体育大会

円盤投げ

第1位 宗像亜恋 Ⅱ全国大会出場

◇5000M競歩

第1位 鈴木莉緒 Ⅱ全国大会出場

◇北部九州高校総体(インターハイ)

円盤投げ

第6位 宗像亜恋

◇5000M競歩

鈴木莉緒 Ⅱ予選惜敗

◇福島県総合スポーツ大会

少年A砲丸投げ

第1位 宗像亜恋 Ⅱ東北総合スポーツ大会出場

◇共通5000M競歩

第2位 渡部琉楠 Ⅱ東北総合スポーツ大会出場

少年B円盤投げ

第3位 吉田美虹(1年)

◇第79回福島県陸上競技選手権大会

円盤投げ

第1位 宗像亜恋 Ⅱ東北大会出場

◇5000M競歩

第2位 渡部琉楠 Ⅱ東北大会出場

◇400MH

第4位 平原真緒(2年) Ⅱ東北大会出場

◇400M

第5位 平原真緒

◇砲丸投げ

第5位 宗像亜恋

◇3000M障害

第7位 古川楓夏

◇東北総合スポーツ大会

円盤投げ

第4位 宗像亜恋

◇5000M競歩

第5位 渡部琉楠

【バレーボール部】

◇第70回福島県高等学校体育大会

第1位 Ⅱ東北大会・全国大会出場

◇東北高等学校体育大会

第3位

◇北部九州高校総体(インターハイ)

予選リーグ

本校 2-10 新発田商業(新潟県)

決勝トーナメント1回戦

本校 0-12 八王子実践(東京都)

◇福島県総合スポーツ大会

女子団体

第1位

◇東北総合スポーツ大会

福島県少年女子

第2位 Ⅱ国民スポーツ大会出場

【剣道部】

◇第70回福島県高等学校体育大会

女子団体

第3位 Ⅱ東北大会出場

第3位 野口姫依(2年) ベスト8

吉津知巴(2年)

◇東北高等学校体育大会

◇女子団体 予選リーグ惜敗

◇女子個人

野口姫依、吉津知巴 Ⅱ1回戦敗退

◇福島県総合スポーツ大会

女子団体

第3位

女子個人

ベスト8 野口姫依、吉津知巴

【卓球部】

◇第70回福島県高等学校体育大会

学校対抗

第2位 Ⅱ東北大会出場

◇シングル

第2位 酒井沙里(2年) Ⅱ東北大会・全国大会出場

東北大会出場 Ⅱ野々宮好芭(2年)、柳沼夏帆(1年)、神谷美月(1年)

ダブルス

ベスト8 酒井沙里・野々宮好芭、秋元愛美・柳沼夏帆 Ⅱ以上東北大会出場

◇東北高等学校体育大会

学校対抗

ベスト8

◇シングル

第16位 酒井沙里

◇北部九州高校総体(インターハイ)

シングル

酒井沙里 Ⅱ全国2勝、3回戦敗退

◇福島県総合スポーツ大会

女子団体

第2位

女子個人

第7位 酒井沙里

【ハンドボール部】

◇第70回福島県高等学校体育大会

第1位 Ⅱ東北大会・全国大会出場

◇東北高等学校体育大会

第3位

◇北部九州高校総体(インターハイ)

1回戦

本校 20-30 北海道第二(茨城県)

◇福島県総合スポーツ大会

女子団体

第1位

◇東北総合スポーツ大会

福島県少年女子

第3位

【弓道部】

◇第70回福島県高等学校体育大会

女子団体

第2位 Ⅱ東北大会出場

◇東北高等学校体育大会

女子団体

第3位

◇福島県総合スポーツ大会

遠的競技女子団体

第4位

近的競技個人

第5位 伊藤恵玲菜(2年)

【テニス部】

◇第70回福島県高等学校体育大会

女子団体

ベスト8

ダブルス

ベスト8 佐藤空(3年)・古川沙季(3年)

◇福島県総合スポーツ大会

Ⅱ部ダブルス

第3位 鍋木莉夢(1年)・若林琴音(1年)

北部九州高校総体2024

附属高校インターハイ出場

「ありがとうを強さに変えて」をテーマにした全国高校総合体育大会（北部九州高校総体2024・インターハイ）は今夏、九州北部を中心に開かれました。附属高校から新体操部、陸上競技部、バレーボール部、卓球部、ハンドボール部が晴れの舞台に臨みました。

新体操部



新体操競技は8月6、7の両日に福岡県北九州市立総合体育館で行われました。団体競技は第20位という結果で、大舞台で緊張はしたものの練習の成果を発揮することができました。個人競技では佐藤若菜（3年）が出場し総合13位になりました。持ち味であるスピード感とクールさ、そして美しさを披露できました。私たちが励まし支えてくださった方々に心より感謝し、新たな目標に向かって練習を重ねてまいります。

陸上競技部

福岡県福岡市で開催されたインターハイ陸上競技で、5000m競歩に鈴木莉緒（2年）、円盤投げに宗像亜恋（3年）が出場し、円盤投げで6位入賞を果



たすことができました。全国大会という大舞台で、失敗を恐れず、全力でプレーができたことは、チームメイトや支えてくださった方々の存在があったからだと思います。競技を通して応援していただける方々に恩返しができるようこの経験を糧とし、さらなる高みを目指します。応援ありがとうございました。

バレーボール部

バレーボール競技は7月26日から大分県中津市を会場に行われました。予選グループ戦で新発

田商業（新潟県代表）に2-0で勝利し、決勝トーナメントへ進出しました。決勝トーナメント1回戦では八王子実践（東京都第1代表）と対戦し、惜しくも敗れました。憧れのインターハイで、決勝トーナメントに4年連続で駒を進め、強豪校にも附属バレーが通用するという実感を持つことができました。しかし、目標のベスト16以上は達成できませんでした。

卓球部

卓球競技は8月3日から8日まで長崎県大村市で開催されました。酒井沙里（2年）が出場し、シングルス1回戦を3-1で勝利して波に乗り、2回戦も3-2で競り勝ち、3回戦に進出しました。3回戦は惜敗しましたが、初めてのインターハイで2勝することができ、大きな自信になりました。この結果により、酒井は1月に京都府で開催される全国高校体連冬季合宿の東北ブロック代表に選出されました。これまでのご支援に感謝し、さらに練習に励んでまいります。



ハンドボール部



ハンドボール競技は、8月7日から福岡県久留米市などで開催されました。初戦で茨城県代表の水海道第二高校と対戦し、20-30で惜敗しましたが、自分たちの練習の成果を精一杯発揮することができました。昨年はインターハイ出場を逃し、悔しさを味わいましたが、今年はそのリベンジを果たして、全国の舞台に立てたことを誇りに思います。支えてくださった方々に感謝を忘れず、この経験を糧に今後も一層努力してまいります。



日本代表でプレーする佐藤にじ選手(2番)

私は、タイのナコンパトムで行われた2024女子U18アジア選手権大会に日本代表として出場しました。1次ラウンドでイラン、フィリピンに勝利して1位で予選を通過しました。2次ラウンドでは韓国、台湾に勝って決勝トーナメントへ進出し、準決勝は地元のタイを破りました。決勝戦では中国に敗れ、準優勝という結果になりました。

母校のチームメイトとは違う仲間との初めての海外遠征で、緊張や不安もありましたが、事前合宿で指導者やメンバーと積極的にコミュニ

ケーションを取るよう心掛けました。海外のチームが相手でもメンバー同士で声を掛け合い、プレーすることができました。私は移動攻撃（ブ

本代表の勝利に貢献できたことが本当に嬉しかったです。附属高校バレーボール部での練習や学びが、世界に通じる瞬間を味わうことがで

佐藤にじ選手がU18日本代表にバレーボール・アジア選手権で活躍

ロード）を武器としています。セッターとの緻密なコンビが必要となる攻撃です。私の攻撃が決まった時にメンバーが全員で喜んでくれ、プレーで日

きて、とても自信になりました。私が日本代表として試合に臨めたのはいつも会場で私たちを一生懸命に応援してくださる校長先生、

私の持ち味を引き出し熱心にご指導くださる佐藤監督をはじめ、附属高校の先生方、生徒の皆さん、そしてチームメイトの皆さんのおかげです。感謝の気持ちでいっぱい입니다。この経験が附属高校バレーボール部の勝利へと繋げられるようにしたいです。

今回、日本代表の選手だけでなく、海外の選手と交流する機会があり、仲良くなることもできました。再び日本代表になり、もう一度世界で戦える日を目標に、これからの練習に励みます。

「復興知」の研究 成果を披露

大学・短大 葛尾での産品試食



葛尾村での研究活動成果を発表した学生たち

本学は、双葉郡葛尾村で特産品開発や健康づくりに活かす食のあり方を研究して来た成果を披露した。ブースではエゴマ入りマドレーヌと凍み餅を素材にした凍みせんべい、えごまアイスを試食してもらい、来場者からアンケートを取った。評価は今後の活動に役立てる。

また、学生の代表がステージで活動報告を行ったほか、他の大学生らとトークセッションを繰り広げ、相互の交流も図った。

大学食物栄養、短大健康栄養の両学科は8月29日、南相馬市で開かれた福島イノベーション・コースト構想推進機構の「復興知」事業活動報告会に参加した。

会場には、震災と原発事故で被災した浜通り13市町村と田村市、川俣町と連携し、復興に向けて教育研究に取り組み17大学21グループの発表ブースが設けられた。活動はロボット・工学・エネルギー・環境・リスクコミュニケーション・まちづくり・農業関係など多岐にわたる。

源氏物語の世界 宮廷装束で再現

第223回芸術鑑賞講座

第223回芸術鑑賞講座「源氏物語 歳暮の衣配り」展は9月17日から27日まで建学記念講堂で開かれた。紫式部の名作「源氏物語」で光源氏が愛しい姫君や女性に贈った晴れ着の記述に基づき再現した装束を公開した。

装束は、本学園の生活文化博



他大学の関係者と開発品について懇談

第6回郡山開成学園美術展は8月7日から15日まで郡山市うすい百貨店ギャラリーで開かれた。

短期大学部地域創成学科のアート&デザイン系で学ぶ学生と教員、卒業生、生涯学習講座の受講者ら20人が新作27点を出品した。

油彩、版画、木彫、デジタルプリントなど、それぞれの個性がふれる作品が並び、会場を訪れた人たちの目を楽しませた。



個性あふれる作品が並び美術展

学生、教員らの個性あふれる作品を展示
郡山開成学園美術展



再現された宮廷装束に見入る来場者

七夕飾りに様々な 寮生の願いを託す

家庭寮では、7月7日の七夕会に向け、玄関ホールに設置した若竹に寮生の願いを記した短冊が飾られた。

短冊には、卒業後の進路、テストでの成績向上、部活動での全国大会出場や家族の健康を願うもの、世界平和を願うものなど様々な願いが記されていた。

色とりどりの短冊の中に学友の短冊を見つけ、嬉しそうに談笑する姿も見られた。

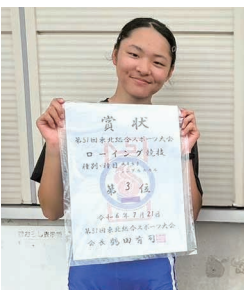
寮生の願いはきつと叶えられるでしょう。



藤原さん、ローイング競技で東北3位

学友会ボート部の藤原早稀さん(幼児教育学科1年)は7月に行われた東北総合スポーツ大会(ローイング競技(旧ボート))の成年女子シングルスカルで第3位に入賞した。写真。

藤原さんは秋田県で行われたレースに福島選抜の選手として出場。決勝で2位の地元選手に3秒余の差で敗れ、惜しくも国民スポーツ大会出場を逃した。



出場して入賞を目指した「誓っている」

大学、高校のSDGs 取り組み楽しく紹介

郡山開成学園は8月10、11の両日、ビッグパレットふくしまで開かれた「ふくしまSDGs未来博」に出展した。

「ふくしまの課題解決をみんなの手で」をテーマに企業・団体教育機関、自治体などがSDGsの取り組みを紹介した。

本学園は環境委員会と大学のナチュラライフスタイル部、附



間伐材のコースター作りを楽しむ子ども



メタバース体験などを行った高校研究部

属高校研究部が出展。森林資源や温暖化に関する調査成果を報告すると共に、来場者にケヤキの間伐材を使ったコースター作りを楽しんでもらった。

また、高校研究部はプログラミング学習で制作したメタバースやVR体験などを繰り広げた。

第60代ミスうねめ 高田七海さん まつりの華に

大学食物栄養学科3年の高田七海さんは第60代ミスうねめ(春姫)に選ばれ、8月2、3日に郡山駅前大通りで開かれた「うねめまつり」の華として活躍した。

高田さんは一緒に選ばれた2名のミスうねめと共に時代衣装姿で登場。オーブンカーに乗ってパレードした後、新旧う



うねめまつりで笑顔を振りまく高田さん

ねめの交代式や郡山市の姉妹都市・奈良市の使節団の方々とのセレモニーに臨んだ。踊り流しにも参加し、詰め掛けた多くの人たちに明るい笑顔振りまいた。

高田さんは、まつり後も「ミス郡山」として来年夏まで活動する。「生まれ育った郡山市のPR活動に貢献できるのが嬉しい。姉妹都市との交流や県内外でのイベントなどで故郷の魅力を伝えたい」と語っている。

学校法人 郡山開成学園

令和5年度 事業報告

一、法人の概要

(1) 建学の精神

本学園は「建学の精神」[「尊敬」「責任」「自由」]を教育目標としている。それは、お互いの個性を尊重し、敬愛できる豊かな人柄を創り他者においてそれを認めること、そして、人間として存在するために、責任ある行動で社会への自覚を持つこと。つまり、個性を重視し、互いに理解する「個の確立」と「他との協調」をもつて、自主・自立できる女性としての人間育成を図るのが目的である。

(2) 学校法人の沿革

- 法人名 学校法人郡山開成学園(創立：昭和22年4月22日)
- 所在地 福島県郡山市開成三丁目25番2号
- 代表者 理事長 関 口 修
- 設置学校名

郡山女子大学大学院

開設：修士課程平成4年4月
博士課程平成8年4月

郡山女子大学

開設：昭和41年4月
郡山女子大学短期大学部
開設：昭和25年4月

郡山女子大学附属高等学校

開設：昭和32年4月

郡山女子大学附属幼稚園

開設：昭和30年4月

○学校長名

郡山女子大学

学長 関 口 修

郡山女子大学短期大学部

学長 関 口 修

郡山女子大学附属高等学校

校長 関 口 修

郡山女子大学附属幼稚園

園長 賀 門 康 博

(3) 学校・学部・学科等の入学定員、学生数の状況(令和5年5月1日現在)
在籍総数……………1,377名
前年度比……………1,04名減

学則等収容定員……………2,279名

○在籍数一覧 表①参照

(4) 役員等(令和5年8月4日現在)

理事9名・監事2名・評議員22名

(5) 教職員数(令和5年5月1日現在)

表②参照

二、事業の概要(当該年度)

本学の建学の精神である「尊敬・責任・自由」と学園の基本方針である「品位高尚」「秩序儉約」「創造自立」を根幹として、それぞれの学校、学科、部署等において計画した教育並びに運営に関する事項を実施した。

(1) 教育等実施内容

部署毎に年度当初に立てた計画(Plan)に基づき、実施(Do)、評価(Check)、改善(Act)のPDCAサイクルに従い、教育活動並びに事務活動を行った。

(2) 令和5年度入学者入園児数

大学院1名・大学102名・3年次編入学7名・短大206名・専攻科6名・高校94名・幼稚園34名 計450名(前年度比…55名減)

(3) 令和5年度修了生・卒業生

大学院2名・大学103名・短大211名・専攻科6名・高校134名・幼稚園54名 計510名

(4) 学園全体で実施した主な事業

- ・令和5年度当初学園全体職員会
- ・令和5年度郡山開成学園家族会総会
- ・生活文化博物館 博物館登録(福島県教育委員会)
- ・第77回もみじ会
- ・令和6年度大学入学共通テスト(会場校)
- ・令和5年度自己点検報告会
- ・令和5年度年度末学園全体職員会
- ・令和6年度新任式・新入者オリエン

ティション

(以下、新型コロナウイルス等感染症の影響により中止)

・学園創立77周年記念式典

(5) 大学院 大学・短大で実施した主な事業

・始業式

・新入生オリエンテーション(学内)

・大学院第30回、大学第58回、短大第74回、専攻科第24回入学式

・関口育英奨学生認定式(大学10名、短大10名)

・新入生学外オリエンテーション(1・2班、裏磐梯)

・第1～4オープンキャンパス(参加者1126名)

・ネットトラブル防止対策講座

・令和6年度大学・短大入学者選抜実施内容及び教育内容等説明会(参加35校37名)

・第1～3回高大連携基礎能力適性調査

・大学・短大大運動会

・第59回学園教育充実研究会(大学・短大、事務局)

・大学院第28回、大学第55回、短大第73回、専攻科第23回卒業式

・春のオープンキャンパス(参加者249名)

○その他の実施内容

主任・大学・短大教授会・研究科委員会(月1回)、数理・データサイエンス・AI教育プログラム実施、入試判定会議、教務委員会、学生生活委員会、就職委員会・担当学生会議、図書館運営委員会、卒業研究発表、就職ガイダンス(年6回)、公務員試験対策講座(年3回)、キャリアアップセミナー(年4回)、インターシップ(単位認定型)

○学生のボランティア参加の状況

合計11件 延べ146人

○令和5年度卒業生就職状況

令和5年度卒業生就職状況

表① 院生・学生・生徒・園児在籍総数(令和5年5月1日現在) [1,377名:前年度比104名減] 学則等収容定員[2,279名]

大学院	課程名	在籍数	入学定員	在 籍 学 生 数					収容定員
				(修)1	(修)2	(博)1	(博)2	(博)3	
				合計	合計	合計	合計	合計	
大学院	修士課程	10	10	3	3	3	3	3	4
	博士課程	3	3	0	0	0	0	0	9
	合 計	13	13	1	3	0	0	0	4

郡山女子大学	学科名	在籍数	入学定員	編入定員	在 籍 学 生 数					収容定員
					1年次	2年次	3年次	4年次	合計	
					合計	合計	合計	合計	合計	
郡山女子大学	生活科学科	40	40	10	42	36	37	40	155	180
	食物栄養学科	80	80	10	60	67	77	63	267	340
	合 計	120	120	20	102	103	114	103	422	520

(含編入定員40名)

短期大学部	学科名	在籍数	入学定員	在 籍 学 生 数			収容定員
				1年次	2年次	合計	
				合計	合計	合計	
短期大学部	健康栄養学科	70	70	50	38	88	140
	幼児教育学科	140	140	89	104	193	280
	地域創成学科	80	80	71	78	149	160
専攻科	文化学専攻	10	10	3	7	10	20
	幼児教育学専攻	10	10	3	0	3	20
	合 計	20	20	6	7	13	40

附属高等学校	学科名	在籍数	入学定員(校則)	在 籍 生 徒 数				収容定員(校則)
				1学年	2学年	3学年	合計	
				合計	合計	合計	合計	
附属高等学校	普通科	240	240	60	71	76	207	720
	音楽科	20	20	7	6	11	24	60
	美術科	20	20	11	24	15	50	60
合 計	食物科	40	40	16	22	37	75	120
	合 計	320	320	94	123	139	356	960

附属幼稚園	在籍数		在 籍 園 児 数			本年4月 入園児数	収容 定員
	年令別		男	女	合 計		
	3才児		25	23	48	29	50
	4才児		27	25	52	3	50
	5才児		26	26	52	2	50
	合 計		78	74	152	34	150

表② 教職員数(令和5年5月1日現在)

学校別	教員数	職員数	非常勤	合計
郡山女子大学	34	25	31	90
郡山女子大学短期大学部	38	30	31	99
郡山女子大学附属高等学校	35	9	23	67
郡山女子大学附属幼稚園	11	1	21	33
計	118	65	106	289

◇放送大学福島学習センター出向職員 5名

- ・夏期保育(年長)
- ・学園教育充実研究会(幼稚園部会)
- ・令和6年度入園説明会
- ・運動会
- ・子どもバザー・卒園児バザー・おひざり会
- ・ほくとわたしの発表会
- ・卒園記念作品展
- ・第69回卒園式
- その他の実施内容
- ・ハロウィンパーティ(えいご教室)、クリスマス会、おもちゃつき、クッキーづくり、歯磨き講習会、お別れ会食、作品展(年中・年少)、ひなまつり、育児講座、KGCマミークラブ
- (8) 家庭寮(令和5年度在寮生79名)
- ・新入寮生：在寮生オリエンテーション、リーダー会議(月1回、七夕会、いも煮会、節分会、学園長先生を開くお茶会、クリスマス会、卒業生送別会)
- (9) 大学図書館(高校分館を含む)
- ・運営委員会、蔵書点検、選書ツアー、全国大学ビブリオバトル郡山地区予選会、土曜開館
- (10) 保健室
- ・定期健康診断(大学・短大生、高校生、幼稚園児、教職員、ストレスチェック)
- (11) 奨学生の採用(新入生)
- ・学園創立者関口育英奨学生 大学生10名、短大生10名、高校生10名 計30名
- ・同窓会育英奨学生 大学生4名、短大生4名、高校生2名 計10名
- (12) 学生・生徒・園児募集
- ・大学・短大進学相談会(会場形式、高校内、WEB、高等学校訪問、附属高校入試説明会、学校説明会、園児募集パンフレット、ホームページの更新)
- (13) 部活動及び応募等の活躍状況(一部) 高校
- 高校
- ・令和5年度全国高等学校総合体育大会(インターハイ)
- ・バレーボール競技 2回戦敗退
- ▽出場▽新体操競技団体・個人、陸上競技円盤投げ、卓球競技ダブルス・シングルス
- ・第76回全日本高等学校バレーボール選手権(春の高校バレー)出場
- ・第47回全国高等学校ハンドボール選抜大会ベスト16
- ・全国高等学校新体操選抜大会 個人総合13位他
- ・全日本卓球選手権大会出場
- ・第36回東北高等学校剣道選抜大会
- ・女子団体出場
- ・第22回東北私立高等学校テニス大会団体3位
- ・東北高等学校弓道選手権大会 個人出場

- ・第22回マーチング&パトントンスタージ全国大会高等学校の部銀賞
- ・第77回福島県合唱コンクール銀賞
- ・第2回英語リイディングコンペティション全国大会 1位
- ・第74回県南美術展 青少年奨励賞
- ・福島民報社賞、福島民友新聞社賞
- ・第3回国際音楽コンクール東京第3位
- ・第10回豆乳レシピ甲子園 最優秀学校賞
- ・第31回3R生ゴミ減量1減るしいレシコンクール 最優秀賞他
- 大学・短大
- ・ミートデリカコンテスト福島県大会 最優秀賞
- ・全国大学ビブリオバトル2023 全国大会出場
- ・第8回福島県きのこ料理コンクール 奨励賞
- (14) 安全管理
- ・安全防災訓練にて身の安全確保訓練及び避難訓練を実施(707名参加)
- (15) 施設・設備関係
- ・教育環境の整備と適切な運営・維持・管理を行い施設の長寿命化を図るため、優先的に行う工事を順次実施
- (16) 環境関係
- ・エコアクション21中間審査(10回目)を実施の結果「ガイドライン適合」との評価
- ・プロジェクトD(どんぐりプロジェクト)を開催し、学生、教職員約10名が福島ふれあいの森にて樹木の裾枝払いを行った。
- ・「環境経営活動レポート2023」を学園関係者、環境イベント来場者に配布、学園HPに公表した。
- (17) その他
- 芸術鑑賞講座
- ・第218回「川田修一トラベット公演」
- ・第219回東京演劇集団 風「ヘレン・ケラー」
- ・第220回「エコール・ド・パリ版画展」
- ・第221回「郡山交響楽団」弦楽五重奏のひとつき」
- 教養講座
- ①「あえて日本語の中で生きるという事 講師 ロバート キャンベル(日本文学者)」
- ②「原稿用紙・明朝体のルーツを訪ねる 講師 盛井 幸道氏(萬福寺塔頭宝蔵院住職)」
- ③「坊さん市長の12年」災害の中から得た「縁」講師 高松 義行氏(本宮市長)

① 資金収支計算書

資金収支計算書について、その主な内容をご報告いたします。
令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位：円)

科 目	予 算	決 算	差 異
〔収入の部〕			
学生生徒等納付金収入	1,140,017,350	1,139,865,800	151,550
手数料収入	12,273,865	13,130,995	△ 857,130
寄付金収入	9,105,000	9,705,000	△ 600,000
補助金収入	633,388,000	640,157,592	△ 6,769,592
国庫補助金収入	356,532,000	365,688,000	△ 9,156,000
地方公共団体(県)補助金収入	264,439,000	262,052,000	2,387,000
地方公共団体(市)補助金収入	10,139,000	10,139,000	0
地方公共団体(町)補助金収入	1,800,000	1,800,000	0
福島県学術教育振興財団助成金収入	478,000	478,592	△ 592
資産売却収入	150,000,000	150,000,000	0
付随事業・収益事業収入	82,196,000	81,694,922	501,078
受取利息・配当金収入	21,425,000	21,425,767	△ 767
雑収入	162,056,000	161,874,091	181,909
借入金等収入	390,000,000	490,000,000	△ 100,000,000
前受金収入	256,477,000	290,549,600	△ 34,072,600
その他の収入	273,079,525	233,747,167	39,332,358
資金収入調整勘定	△ 402,886,000	△ 406,948,008	4,062,008
前年度繰越支払資金	214,510,360	214,510,360	—
収入の部 合計	2,941,642,100	3,039,713,286	△ 98,071,186
〔支出の部〕			
人件費支出	1,677,662,735	1,677,893,264	△ 230,529
教育研究経費支出	579,198,000	539,028,957	40,169,043
管理経費支出	173,990,000	177,396,002	△ 3,406,002
借入金等利息支出	1,702,000	1,808,956	△ 106,956
借入金等返済支出	166,600,000	266,600,000	△ 100,000,000
施設関係支出	42,108,000	43,161,800	△ 1,053,800
設備関係支出	31,216,200	31,334,918	△ 118,718
資産運用支出	7,161,640	7,161,627	13
その他の支出	151,208,729	154,421,029	△ 3,212,300
予備費	(0)		7,900,000
資金支出調整勘定	△ 42,236,816	△ 47,624,603	5,387,787
翌年度繰越支払資金	145,131,612	188,531,336	△ 43,399,724
支出の部 合計	2,941,642,100	3,039,713,286	△ 98,071,186

④ 貸借対照表

貸借対照表について、その主な内容をご報告いたします。
令和6年3月31日現在

(単位：円)

科 目	本年度末	前年度末	増 減
〔資産の部〕			
固定資産	5,917,881,266	6,333,363,703	△ 415,482,437
有形固定資産	5,385,109,272	5,551,751,329	△ 166,642,057
土地	2,745,140,681	2,745,140,681	0
建物	1,724,843,877	1,832,420,242	△ 107,576,365
構築物他	915,124,714	974,190,406	△ 59,065,692
特定資産	161,521,017	273,806,650	△ 112,285,633
私立開成学園創立者関口育英奨学金引当特定資産	139,150,186	248,428,746	△ 109,278,560
同窓会奨学金引当特定資産	22,370,831	25,377,904	△ 3,007,073
その他の固定資産	371,250,977	507,805,724	△ 136,554,747
有価証券	350,000,000	500,000,000	△ 150,000,000
ソフトウェア他	21,250,977	7,805,724	13,445,253
流動資産	309,120,644	300,108,701	9,011,943
現金預金	188,531,336	214,510,360	△ 25,979,024
未収入金他	120,589,308	85,598,341	34,990,967
資産の部合計	6,227,001,910	6,633,472,404	△ 406,470,494
〔負債の部〕			
固定負債	1,352,136,833	1,129,365,391	222,771,442
長期借入金	323,300,000	99,900,000	223,400,000
長期未払金	44,653,450	56,456,301	△ 11,802,851
退職給与引当金	984,183,383	973,009,090	11,174,293
流動負債	445,321,120	507,379,729	△ 62,058,609
短期借入金	66,600,000	66,600,000	0
前受金	290,549,600	296,395,000	△ 5,845,400
預り金他	88,171,520	144,384,729	△ 56,213,209
負債の部合計	1,797,457,953	1,636,745,120	160,712,833
〔純資産の部〕			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
基本金	15,966,162,023	15,896,474,053	69,687,970
第1号基本金	15,766,162,023	15,696,474,053	69,687,970
第4号基本金	200,000,000	200,000,000	0
繰越収支差額	△ 11,536,618,066	△ 10,899,746,769	△ 636,871,297
翌年度繰越収支差額	△ 11,536,618,066	△ 10,899,746,769	△ 636,871,297
純資産の部合計	4,429,543,957	4,996,727,284	△ 567,183,327
負債及び純資産の部合計	6,227,001,910	6,633,472,404	△ 406,470,494
参考 減価償却の累計額	10,445,002,346	10,256,813,957	188,188,389

⑤ 財産目録総括表

財産目録について、その主な内容をご報告いたします。
令和6年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額	備 考
基本財産	5,405,850,249	
土地	181,861.30㎡	2,745,140,681
建物	50,834.37㎡	1,724,843,877
構築物	308点	59,662,125
教育研究用機器備品	12,318点	362,072,750
管理用機器備品	695点	4,355,651
図書	161,058冊	489,034,187
車両	1	減価償却累計額 19,953,868
水道施設利用権	0	減価償却累計額 18,765,590
借地権	980,389	
電話加入権	2,918,498	
ソフトウェア	3件	16,842,090
運用財産	821,151,661	減価償却累計額 11,581,350
現金・預金	188,531,336	預入先 東邦銀行他4行
有価証券	350,000,000	外国債券
出資金	460,000	郡山信用金庫他
保証金	50,000	
育英奨学金基金引当特定資産	139,150,186	
同窓会奨学金引当特定資産	22,370,831	
未収入金	110,553,008	退職金財団交付金他
前払金	135,500	
その他の資産	9,900,800	立替金
資産合計	6,227,001,910	
固定負債	1,352,136,833	
長期借入金	323,300,000	私学事業団、郡山信用金庫
退職給与引当金	984,183,383	退職給与に係る見積債務額
長期未払金	44,653,450	
流動負債	445,321,120	
短期借入金	66,600,000	郡山信用金庫
未払金	59,290,638	
前受金	290,549,600	令和6年度生入学金等
預り金	28,880,882	
負債合計	1,797,457,953	
差引正味財産	4,429,543,957	

学校法人郡山開成学園の令和5年度決算について、監事及び東邦監査法人の監査を受け、理事会・評議員会で報告・承認されましたので、その概要をご報告いたします。

令和5年度資金収支計算書において、前年度繰越支払資金を加えた資金収入合計は、3,039,713千円となり、予算より98,071千円上回りました。これは、借入金等収入で予算を上回ったためです。

資金支出は、教育研究経費支出で予算を40,169千円下回りましたが、短期で借入金を返済し予算を上回る結果となり、3,039,713千円となりました。

その結果、翌年度繰越支払資金は188,531千円となり、予算より43,399千円増となりました。

令和5年度事業活動収支計算書において、事業活動収入合計より事業活動支出合計が大きいため、経常収支差額で△588,063千円、基本金組入前当年度収支差額では、△567,183千円となりました。基本金組入額△69,688千円を加えた当年度収支差額は△636,871千円となりました。

従って、当年度収支差額△636,871千円に、前年度繰越収支差額△1



0,899,747千円を加えた翌年度繰越収支差額は、△11,536,618千円となりました。

一方、貸借対照表は、資産の部は、有形固定資産5,385,109千円、特定資産161,521千円、その他の固定資産371,251千円、流動資産309,120千円からなり、負債の部は、長期借入金等の固定負債1,352,137千円、短期借入金等の流動負債45,321千円からなり、令和5年度末の純資産は、前年度比567,183千円減少し、4,429,543千円となっております。

私たちは、学校法人郡山開成学園の監事として、私立学校法第37条第3項に基づいて同学園の令和5年度（令和5年4月1日から令和6年3月31日まで）における財産目録及び計算書類（資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表及び附属明細表）を含め、学校法人の業務並びに財産の状況について監査を行いました。

私たちは監査にあたり、理事会その他重要な会議に出席するほか理事から業務の報告を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧するなど必要と思われる監査手続を実施しました。

監査の結果、私たちは、学校法人の業務に関する決定及び執行は適切であり、財産目録及び計算書類は会計帳簿の記載と合致し、法人の収支及び財産の状況を正しく示しており、学校法人の業務若しくは財産の状況又は理事の業務執行の状況に關し、不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実のないことを認めま

③ 事業活動収支計算書

事業活動収支計算書について、その主な内容をご報告いたします。
令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位：円)

科 目	予 算	決 算	差 異
〔教育活動収入の部〕			
学生生徒等納付金	1,140,017,350	1,141,208,800	△ 1,191,450
手数料	12,273,865	13,130,995	△ 857,130
寄付金	9,729,000	10,729,850	△ 1,000,850
経常費等補助金	612,069,000	620,409,592	△ 8,340,592
国庫補助金	335,499,000	347,934,000	△ 12,435,000
地方公共団体(県)補助金	264,153,000	260,058,000	4,095,000
地方公共団体(市)補助金	10,139,000	10,139,000	0
地方公共団体(町)補助金	1,800,000	1,800,000	0
福島県学術教育振興財団助成金	478,000	478,592	△ 592
付随事業収入	82,196,000	81,694,922	501,078
雑収入	162,056,000	161,874,091	181,909
教育活動収入計	2,018,341,215	2,029,048,250	△ 10,707,035
〔事業活動支出の部〕			
人件費	1,674,233,000	1,689,067,557	△ 14,834,557
教育研究経費	819,198,000	763,799,391	55,398,609
管理経費	165,131,000	168,475,617	△ 3,344,617
徴収不能額等	0	1,385,500	1,385,500
教育活動支出計	2,658,562,000	2,622,728,065	35,833,935
教育活動収支差額	△ 640,220,785	△ 593,679,815	△ 46,540,970
〔教育活動外収支〕			
科 目	予 算	決 算	差 異
受取利息・配当金	21,425,000	21,425,767	△ 767
その他の教育活動外収入	0	0	0
教育活動外収入計	21,425,000	21,425,767	△ 767
借入金等利息	1,702,000	1,808,956	△ 106,956
その他の教育活動外支出	14,000,000	14,000,000	0
教育活動外支出計	15,702,000	15,808,956	△ 106,956
教育活動外収支差額	5,723,000	5,616,811	106,189
経常収支差額	△ 634,497,785	△ 588,063,004	△ 46,434,781
〔特別収支〕			
科 目	予 算	決 算	差 異
資産売却差額	0	0	0
その他の特別収入	24,268,000	25,538,001	△ 1,270,001
特別収入計	24,268,000	25,538,001	△ 1,270,001
資産処分差額	300,000	4,651,764	△ 4,351,764
その他の特別支出	0	6,560	△ 6,560
特別支出計	300,000	4,658,324	△ 4,358,324
特別収支差額	23,968,000	20,879,677	3,088,323
〔予備費〕	(0)		1,000,000
基本金組入前当年度収支差額	△ 611,529,785	△ 567,183,327	△ 44,346,458
基本金組入額合計	△ 50,396,000	△ 69,687,970	19,291,970
当年度収支差額	△ 661,925,785	△ 636,871,297	△ 25,054,488
前年度繰越収支差額	△ 10,899,746,769	△ 10,899,746,769	0
翌年度繰越収支差額	△ 11,561,672,554	△ 11,536,618,066	△ 25,054,488
(参考)			
事業活動収入計	2,064,034,215	2,076,012,018	△ 11,977,803
事業活動支出計	2,675,564,000	2,643,195,345	32,368,655

② 活動区分資金収支計算書

活動区分資金収支計算書について、その主な内容をご報告いたします。
令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位：円)

科 目	金 額
〔教育活動による資金収支〕	
〔収入〕	
学生生徒等納付金収入	1,139,865,800
手数料収入	13,130,995
一般寄付金収入	9,705,000
経常費等補助金収入	620,409,592
付随事業収入	81,694,922
雑収入	161,874,091
教育活動資金収入計	2,026,680,400
〔支出〕	
人件費支出	1,677,893,264
教育研究経費支出	539,028,957
管理経費支出	163,389,442
教育活動資金支出計	2,380,311,663
差引	△ 353,631,263
調整勘定等	△ 35,665,733
教育活動資金収支差額	△ 389,296,996
〔施設整備等活動による資金収支〕	
〔収入〕	
施設設備補助金収入	19,748,000
施設設備売却収入	0
施設整備等活動資金収入計	19,748,000
〔支出〕	
施設関係支出	43,161,800
設備関係支出	31,334,918
施設整備等活動資金支出計	74,496,718
差引	△ 54,748,718
調整勘定等	△ 33,550,385
施設整備等活動資金収支差額	△ 88,299,103
小計(教育活動資金収支差額＋施設整備等活動資金収支差額)	△ 477,596,099
〔その他の活動による資金収支〕	
科 目	金 額
借入金等収入	490,000,000
有価証券売却収入	150,000,000
郡山開成学園創立者関口育英奨学金引当特定資産取崩収入	116,440,000
同窓会奨学金引当特定資産取崩収入	3,007,260
預り金受入収入	28,880,882
立替金回収収入	8,428,500
小 計	796,756,642
受取利息・配当金収入	21,425,767
その他の活動資金収入計	818,182,409
借入金等返済支出	266,600,000
郡山開成学園創立者関口育英奨学金引当特定資産繰入支出	7,161,440
同窓会奨学金引当特定資産繰入支出	187
預り金支払支出	67,087,391
立替金支払支出	9,900,800
過年度修正支出	6,560
有価証券売却差額支出	14,000,000
小 計	364,756,378
借入金等利息支出	1,808,956
その他の活動資金支出計	366,565,334
差引	451,617,075
調整勘定等	0
その他の活動資金収支差額	451,617,075
支払資金の増減額 (小計＋その他の活動資金収支差額)	△ 25,979,024
前年度繰越支払資金	214,510,360
翌年度繰越支払資金	188,531,336

令和5年度 決算報告

監査報告書

令和6年5月24日
学校法人郡山開成学園
監事 橋本 忠雄
遠藤 武士

10月12・13日に「もみじ会」

学習成果を発表、食堂も復活

第78回もみじ会は10月12日(土)13日(日)に開催する。今年のメインテーマは「ACTIVE CAMPUS 24(アクティブ キャンパス 24)」。

大学院、大学、短期大学部、高校、幼稚園の院生、学生、生徒、園児らが研究や学習の成果を発表する他、自分たちが考えた楽しい企画と活動発表を繰り広げる。

大学・短大の学友会は自主企画として12日午後5時から俳優の神尾楓珠さんを招いたトークショーを催す。

また、新型コロナウイルス感染症の流行で自粛していた大学・短大の栄養系と高校食料科の食堂や模擬店が復活する。

12日は午前9時30分から開場式を行い、その後、午後4時まで一般公開する。13日の一般公開は午前9時〜午後4時(高校は午後3時30分)まで。

プロジェクト マッピングを公開

高校は特別企画として各科の強みを生かしたプロジェクトマッピングを制作し、建学記念講堂で披露する。

今年度、文部科学省の「DX(デジタルトランスフォーメーション)ハイスクール」に指定されたため、2年生を中心に探究の時間で、高校の未来と市制百周年を迎えた郡山市の次の100年をテーマにしたプロジェクトマッピング作りに取り組んだ。

また、音楽科生の生演奏と美術科による映像のコラボレーション作品も上映する。

主な発表計画は次の通り。

- ◇大学院▽院生の研究内容(スポーツ栄養、甘味について)紹介
- ◇大学生生活科学科▽社会福祉専攻・手を取り合える社会を目指して▽建築デザイン専攻・消滅可能性都市復活プロジェクト▽教職課程・多様性の時代の家庭教育及び特別支援教育
- ◇大学食物栄養学科▽身体測定による食生活や生活習慣のアドバイスつるんともち手作り白玉団子体験▽食堂「結び亭」
- ◇短大健康栄養学科▽栄養や食品に関するクイズスタンラリー▽焼き菓子・屋台風食品販売
- ◇短大幼児教育学科▽挑戦！運動！探究！〜幼教本気の遊びのコーナー2024〜▽こども文化・アート系昔ばなしの世界▽こども心理・福祉系卒業研究中間発表▽ミュージカル「白雪姫」▽器楽・声楽アンサンブル▽ハンドベル演奏
- ◇短大地域創成学科▽地域創成ゼミナール学修成果発表▽地域創成プロジェクト演習活動報告▽アート&デザイン系作品展示
- ◇専攻科文化化学専攻▽専攻科学生の研究展示発表
- ◇学友会▽県産食材使用メニューのキッチンカー▽各サークル・同好会のパフォーマンス・模擬店・ゲーム▽ミニオーブンキャンパス
- ◇高校▽音楽科サロンコンサート▽美術科作品展▽食物科どんぐり食堂▽各学年・学級お楽しみコーナー▽各文化部活動成果発表・実演
- ◇幼稚園▽ぼくたちわたしたちの作品展

附属高校食料科は、卒業と同時に調理師免許が取得できる学科です。生徒たちは秋のもみじ会で「どんぐり食堂」を開設していましたが、ここ数年はコロナ禍の影響を受け、開設できませんでした。そのような中でJA福島さくら様や地域の方々のご協力により今年度はもみじ会に先駆けて「地産地消どんぐり食堂」を7月と9月に開設し、生徒たちの研鑽の場とすることができました。

第1回は、元郡山ビューホ

テル総料理長、本校食料科非常勤講師である村上利男先生のご指導のもと「冷製コンソープ」「鶏胸肉のローストバジルソース」「ラタトゥイユ添え」「野菜感謝とおもてなし」

「地産地消どんぐり食堂」開設 高校食料科

ゼリ」などのフランス料理を。第二回は元郡山ビューホテル和食料理長、本校食料科非常勤講師である小川健治先生のご



指導のもと、無花果や陸蓮根(おくら)の花など旬の食材を使い「会席弁当」を提供しました。

3年生が、調理と接客、2年生がお客様の案内、1年生が食堂の装飾を担当し、延べ約150人の来場者をお迎えすることができました。お客様方には、笑顔で食事を楽しんで頂くことができ、生徒たちは、おもてなしの心を学ぶ貴重な経験となりました。このような機会を与えて頂いたことに感謝し、今後の成長に繋げていきたいと思います。



郡山女子大学 大学図書館

学生さんからリクエストのあった本をご紹介します。



『余命10年』
小坂流加著
文芸社
請求記号
913.6||Kob82



『20代で得た知見』
F著
KADOKAWA
請求記号
914.6||F



『教養としての和食:食文化の歴史から現代の郷土料理まで』
江原絢子監修
山川出版社
請求記号
383.81||E



『地産地消の歴史地理』
有田正一郎著
古今書院
請求記号
610.1||A

木もれ陽

富士山をコンピニ越しに撮影しようとする外国人観光客が訪れた富士河口湖町の目隠し幕が撤去されたそう。山とその名前が一致するのは「富士山」だけという人もいるだろう。そこで私のお気に入りの山を福島県内に限って考えてみた。深田久弥の「日本百名山」に載っている県内の山は磐梯山・安達太良山・吾妻山・会津駒ヶ岳・飯豊山・燧ヶ岳の6座だ。どの山もすばらしく、燧ヶ岳などは東北一の高きなにあまり知られていないのは残念だ。春の足慣らしの山は額取山。山菜をいただくのは○

○山。花を愛でるなら鳥屋山・矢大臣山・猫魔ヶ岳・蓬田岳など。どの山も捨てがたく選びにくい。前出の深田に「百の頂に百の喜びあり」という名言がある。それでもあえて挙げるなら高旗山だろうか。山頂手前に霧囲気よく鳥居があり、近くに温泉も多く、短時間でも登れることから一番通っているのが理由だ。蛇も多いが花にも恵まれ、家からのアクセスもよい。まさに「山高きが故に貴からず」ではないか。私自身は人生も登山も「たどりきて未だ山麓」(棋士の升田幸三)といったところだろうか。(清)

第78回福島県総合美術展彫刻の部 福島県美術奨励賞

山形 入望(地域創成学科2024年3月卒)

「功德のめぐり」

芥川龍之介の蜘蛛の糸という文学作品の一場面を様々な素材を組み合わせて表現しました。



紙上美術展 104

第78回福島県総合美術展覧会で彫刻の部に出品した短期大学部地域創成学科を今春卒業した山形入望さんが入賞しました。卒業制作による作品です。

◇開成いすず会(同窓会)▽在学生と交流するカフェ&ワークショップ

共催の芸鑑棟方志功版画展は8日から

もみじ会共催の第224回芸術鑑賞講座「棟方志功版画展」は10月8日(火)から13日

(日)まで建学記念講堂で開かれる。

昭和の時代に国内外で活躍した文化勲章受章者の版画家・棟方志功の版画(棟方が称した版画のこと)、倭絵、書など約50点を展示する。